

自己評価報告書

令和3年度 月島第一小学校 自己評価報告書

学校名：月島第一小学校 所在地：中央区月島 4-15-1
 校長名：荒川 比呂美
 児童数：529名 学級数：18学級 教員数：33名 職員数：64名

1 重点目標の達成状況及び取組状況

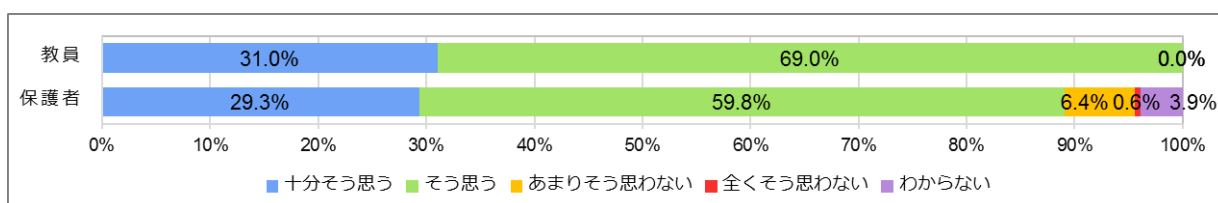
【保護者アンケート 358名 提出率約 68%】

評価：保護者及び児童

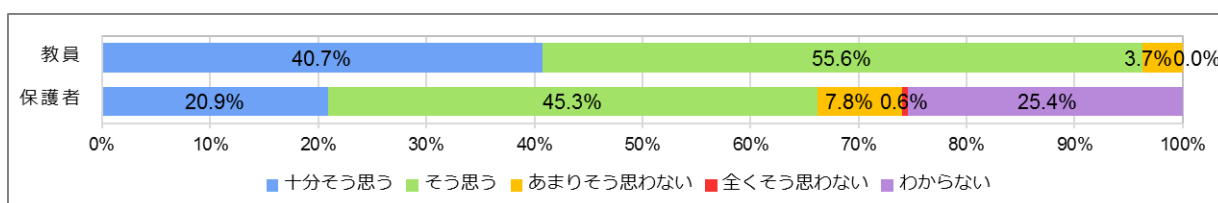
【帯グラフは保護者アンケートの結果】

重点目標 1

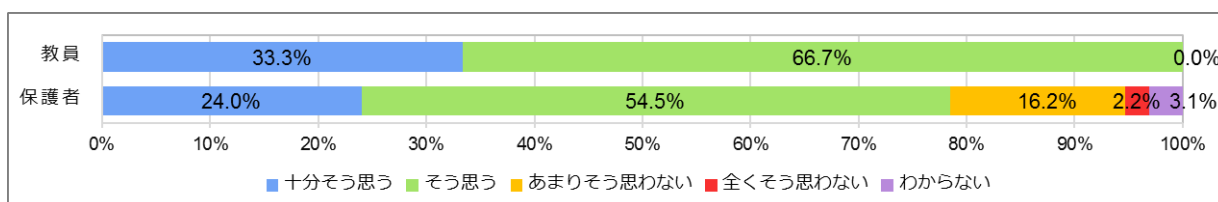
① 個に応じた授業により、基礎的・基本的な学習内容が理解できている。



② 補充教室等で学習のつまづきが解消されている。



③ 学習習慣が身に付き、自ら進んで課題に取り組んでいる。



「個に応じた授業により、基礎的・基本的な学習内容が理解できている。」の問いについては「十分そう思う・そう思う」と評価している家庭が約 9 割となった。コロナ禍で学習形態や内容に制限がある中で、感染予防を踏まえた授業や行事への取り組みやタブレット端末を活用した多様な授業形態の実践が評価されていると考える。学校としても概ね達成できていると考えている。

「補充教室等で学習のつまづきが解消されている。」の問いについては「十分そう思う・そう思う」の評価は 7 割弱と低い数値となった。今年度もコロナ禍で個別補習学習「スタディ月一」等での基礎学力のさらなる定着や、小集団等を活用した授業形態の工夫などが十分に行うことができなかったと認識をしている。質の高い対話場面を生み出し、自分の考えや思いを適切に表現できるようにするなど、今後も引き続き分かりやすい授業を追究していくことが、学力向上の足掛かりとなる。

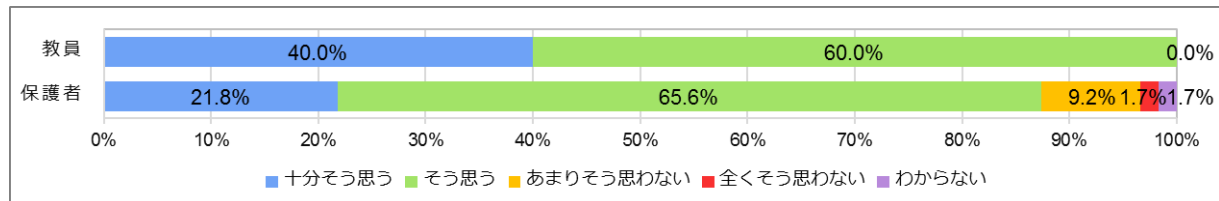
「学習習慣が身に付き、自ら進んで課題に取り組んでいる。」の問いについては「十分そう思う・そう思う」と評価している家庭が約 8 割弱となった。今年度は、全児童対象にタブレット端末が貸与され、写真や動画、音声などテキスト以外の表現が容易になり、学習の質を

高められた。また、タブレット端末を介しての協働学習や、興味・関心、学習進度に合わせた学習が可能となり、進んで課題に取り組むきっかけにもなっている。

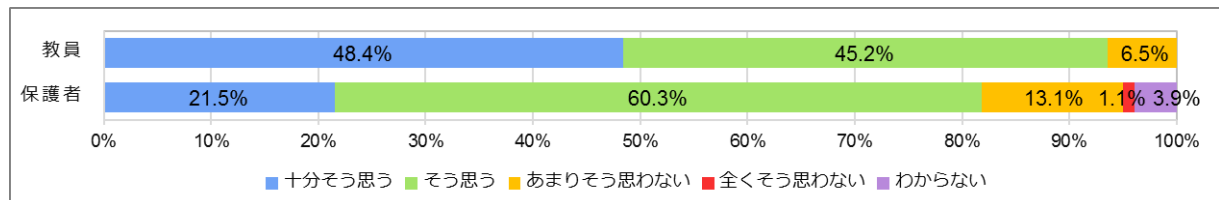
家庭学習の習慣化については、年度当初に各家庭に「家庭学習のすすめ」を配布し、学習用具の準備や学習時間を決めて取り組む等、学習環境を整えていただくよう連携を図っている。今後も学年だよりや学級だよりを継続し、御家庭で行うべき学習内容をお伝えしていきたいと考えている。

重点目標 2

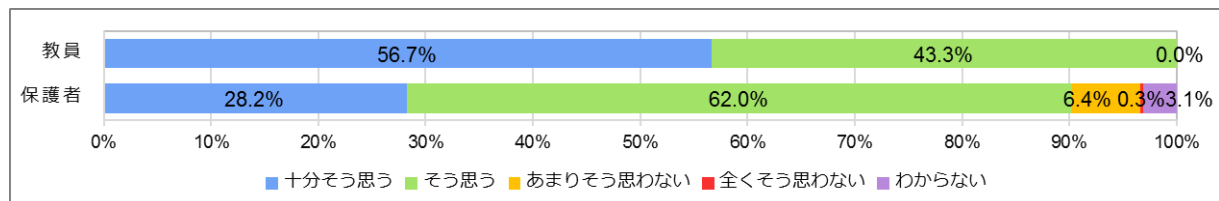
① ルールを守り、時と場合に応じた言葉遣いやあいさつができています。



② 自分の長所に気付き、自信をもって活動に取り組んでいる。



③ 互いの思いや考え・立場を認め、協力して取り組んでいる。



「ルールを守り、時と場合に応じた言葉遣いやあいさつができています。」「自分の長所に気付き、自信をもって活動に取り組んでいる。」については、「十分そう思う・そう思う」の割合が昨年度以上に多くなっている。

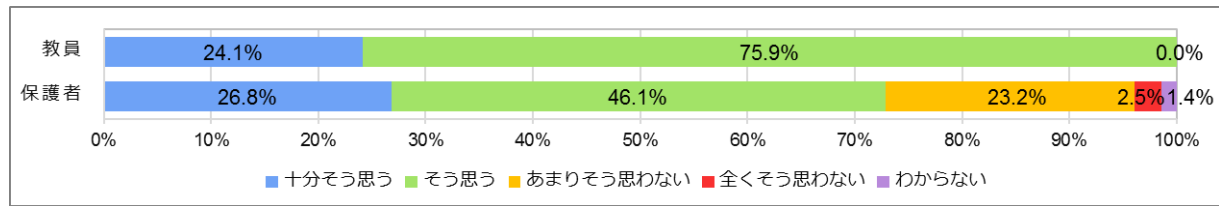
自分の長所については、自己肯定感が低いという調査結果が出ている日本の児童だが、月一っ子は年々自らの自信を高め、生き生きとした姿が保護者の実感としてあるのではないかと考える。

あいさつについては、昨年と同様に「あいさつ運動」を行っており、その成果が少しずつこの評価につながった。しかし、教職員側の印象としては、朝元気がなく、明るく進んであいさつすることができない児童もまだまだおり、解決していきたい課題だと捉えている。児童一人一人の心の安定を見守りながら、今後も進んであいさつする児童の育成を推進していきたいと考えている。

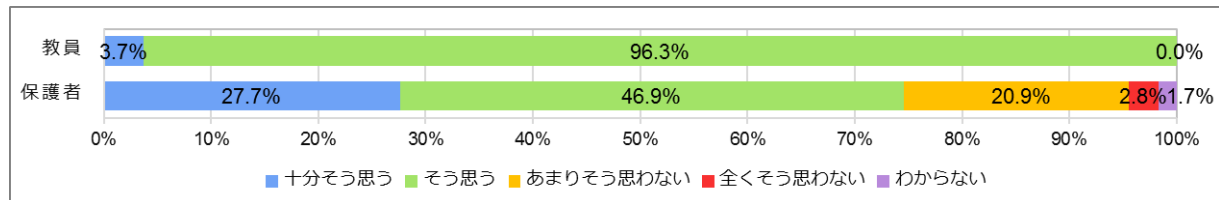
「互いの思いや考え・立場を認め、協力して取り組んでいる。」の問いについては「十分そう思う・そう思う」と評価している家庭が約9割となった。多様な価値観に触れさせ、行事や日頃の学習・学校生活を通して友達関わる場面を意図的に設定してきたことで「みんなで」「協力して」つくり上げようとする姿が見られた。異なる考えも認め、よりよくまとめていこうとする力が育ってきている。

重点目標 3

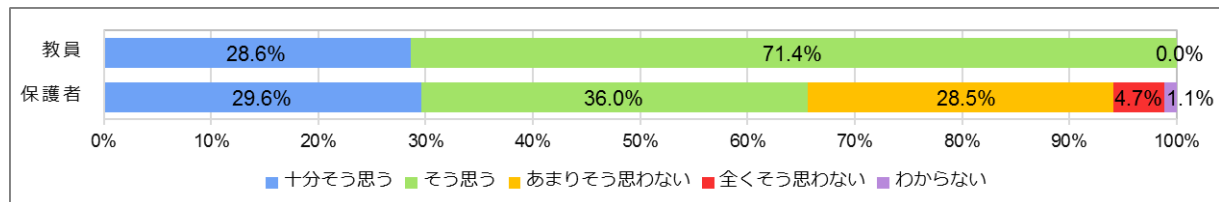
① 早寝早起きや食生活など、自分の健康や体力に関心がある。



② 目標に向け、継続的に運動に取り組んでいる。



③ 積極的に外遊びをし、体づくりをしている。



この目標については、どの項目も「十分そう思う・そう思う」が7割程度となり、約3割の家庭が我が子を見て「体力づくりに取り組んでいない」「関心がない」と評価している。

本校の児童の実態を体力調査から分析すると、各学年男女の体力合計点は5年生の男子以外は、東京都もしくは区内の平均を下回った。また、生活に関するアンケートでは携帯等の視聴時間が2時間以上の児童が約30%にのぼり、高学年に至っては40%を超えるなど、睡眠時間にも影響している。

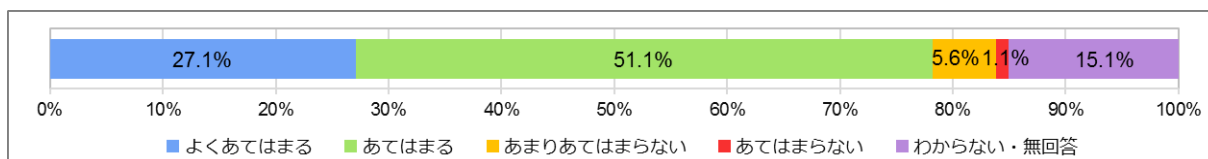
「活動的な身体活動(11歳) 週2回以上実施者の国際比較をみると主要先進国の中で日本はとても低い水準になる。体力の低下が懸念される中で、体育学習においても友達との比較に偏らず、自らの伸びを感じられる授業の工夫を行うことで、少しでも運動を好む児童を育てていきたい。また、帰宅後の体を動かす遊び時間の確保はとても大切になると考える。感染拡大防止の観点からも今後の課題となる。

食に関しては、保護者の献身的な協力の下、月一園での収穫の喜びを体験したり、テーマを決めた工夫した給食を提供したりする中で、家庭での食生活も含めた健康的な生活習慣を身に付けるよう引き続き声を掛けていく。

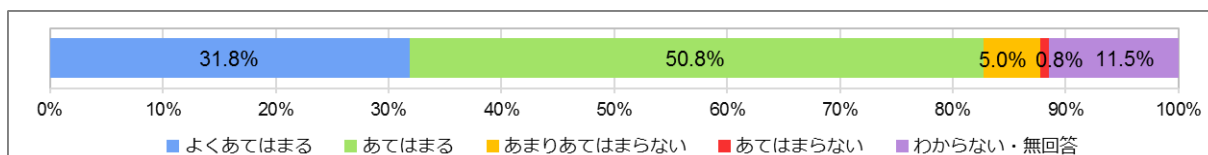
2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

【保護者アンケートの結果】

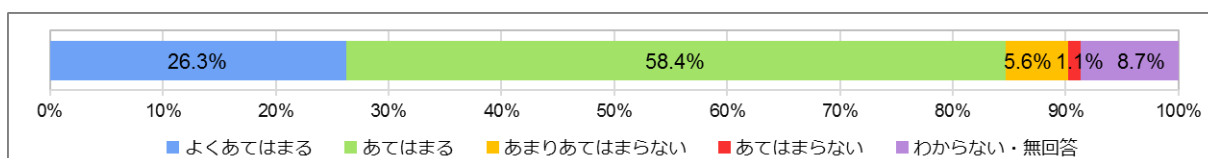
設問 1：学校は学習内容がわかりやすく楽しい授業をしている。



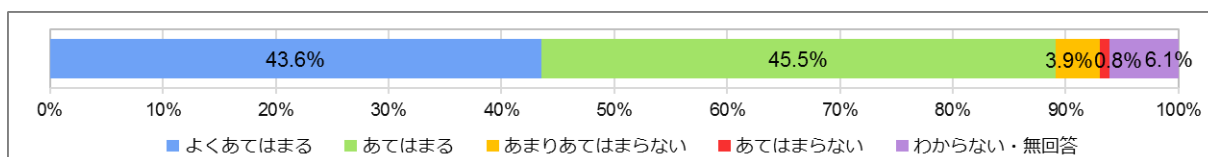
設問 2：学校は児童に基礎学力が身に付くように教えている。



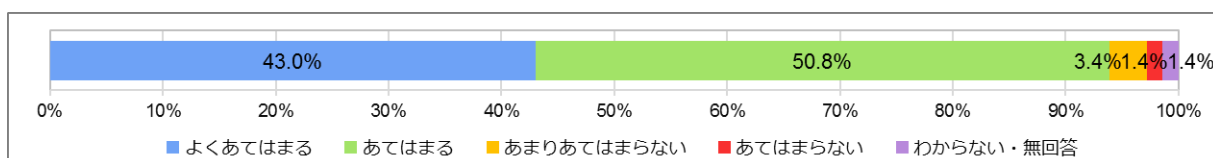
設問 3：学校は通知表等を通して児童の学力を適切に評価している。



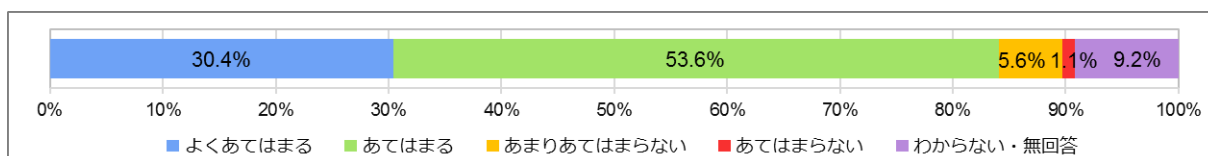
設問 4：学校は児童の努力を認めたり励ましたりして、温かく接している。



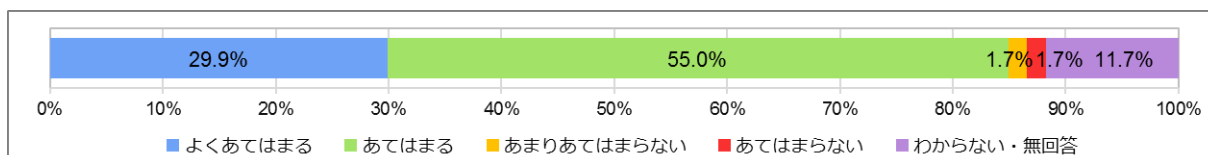
設問 5：児童は明るく生き生きと学校生活を送っている。



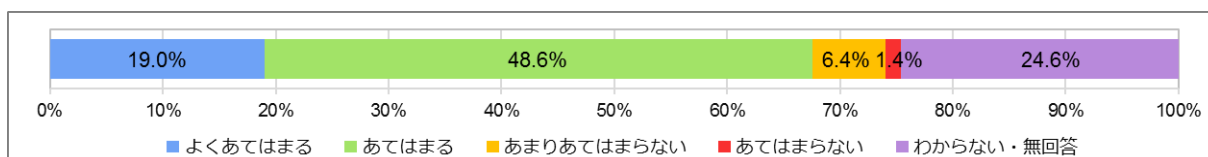
設問 6：学校は児童の健康・体力の増進に努めている。



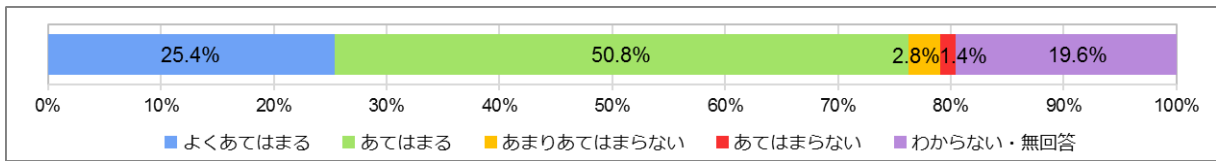
設問 7：学校は道徳教育に力をそそぎ、児童に思いやりの心や規範意識を育てている。



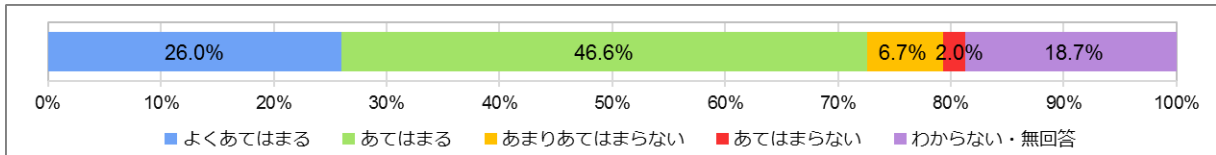
設問 8：学校はボランティア活動や清掃活動などの様々な奉仕活動を行っている。



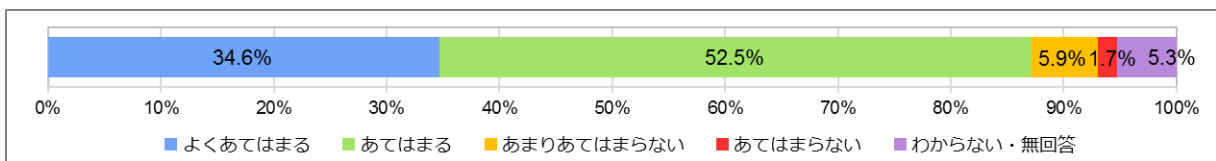
設問 9：学校は教育活動において人権を尊重する姿勢で児童の指導にあたっている。



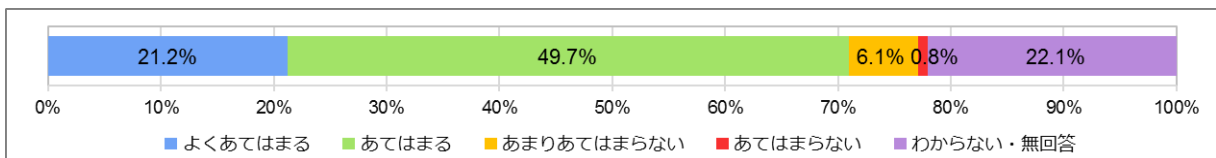
設問 10：学校は児童の問題や悩み、トラブルなどを見逃さずに相談にのったり指導したりしている。



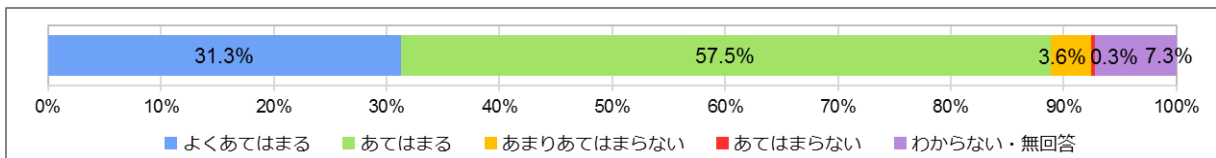
設問 11：学校は保護者にとって連絡や相談がしやすく、適切に対応している。



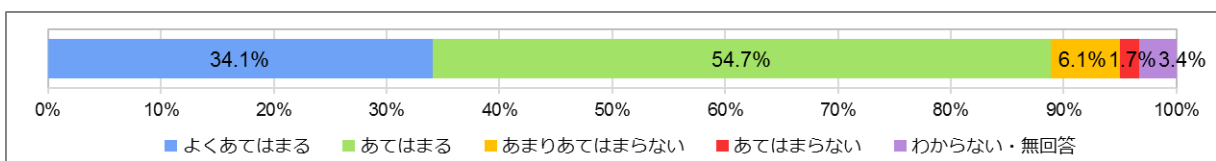
設問 12：学校は保護者や地域の人々が積極的に教育活動にかかわれるようにしている。



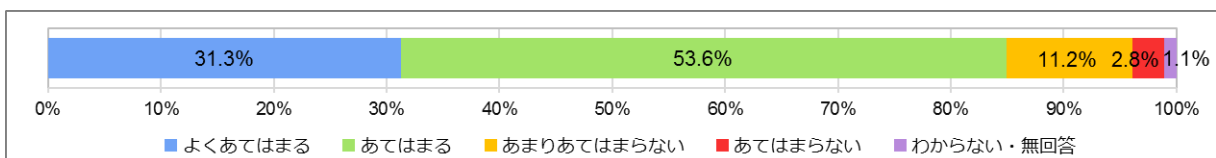
設問 13：学校は児童の安全確保や安全対策に様々な配慮をしている。



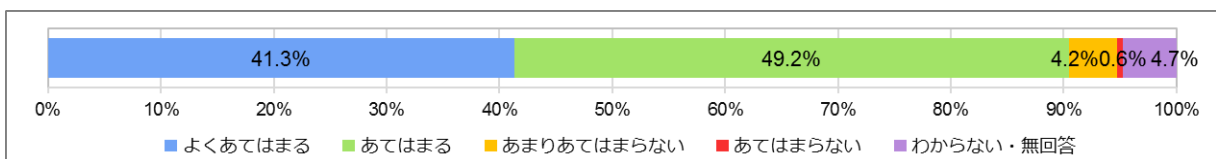
設問 14：学校は行事や学校公開などを通して児童の学習の様子や生活がわかるようにしている。



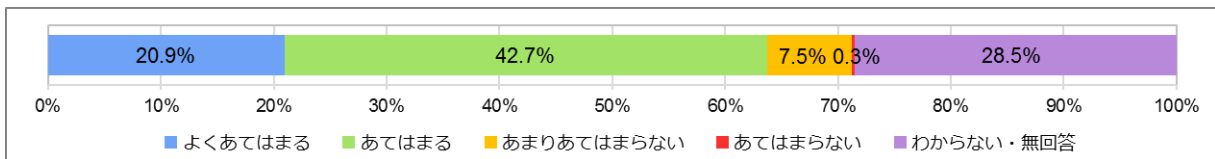
設問 15：学校は保護者に出す文章や連絡等は、わかりやすくても内容も適切である。



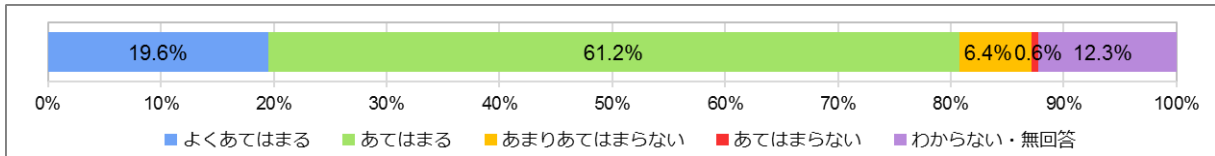
設問 16：学校はタブレットや図書室を活用している。



設問 17：学校は外部講師を生かした教育をしている。

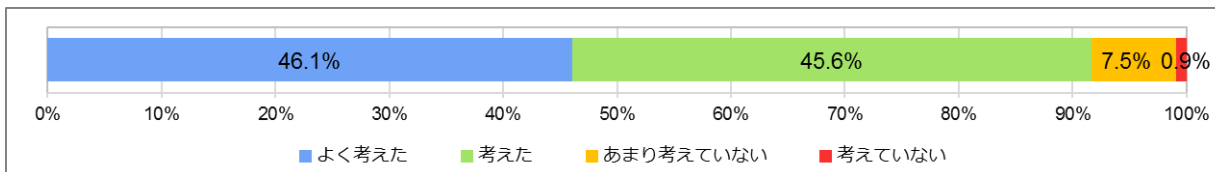


設問 18：保護者は学校の教育活動を理解し、協力している。

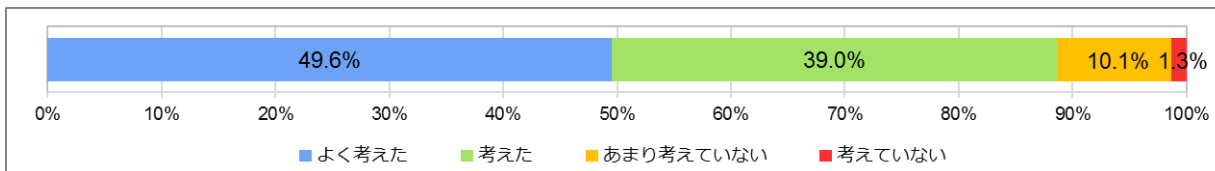


【児童アンケートの結果】

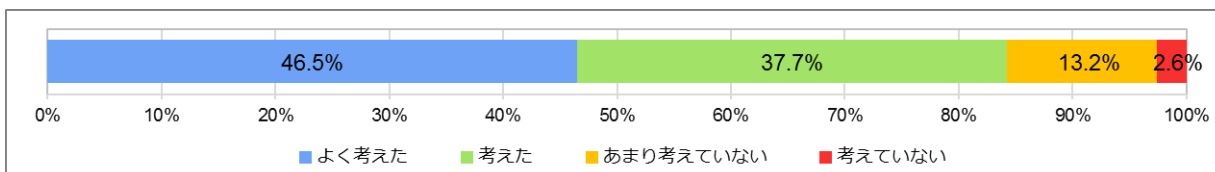
重点目標 1：知っていること・分かっていることを使って、進んで考えましたか



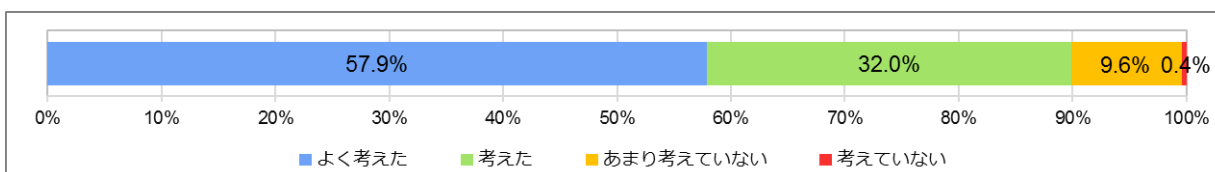
重点目標 2：困っている友達を見かけたら、助けましたか



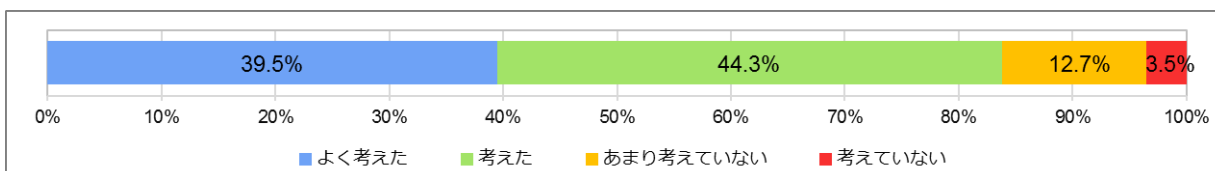
重点目標 3：健康に気を付けて、運動や正しい食生活をしましたか



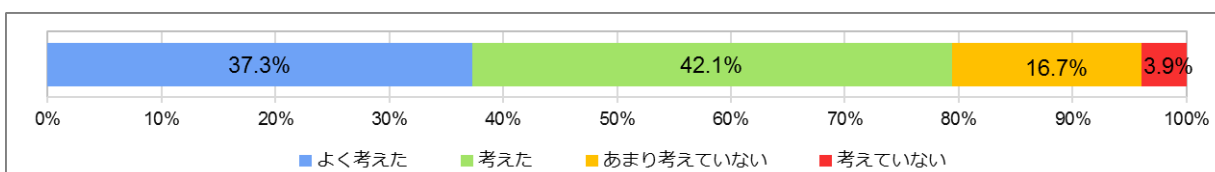
設問 1：授業の内容はよくわかりますか



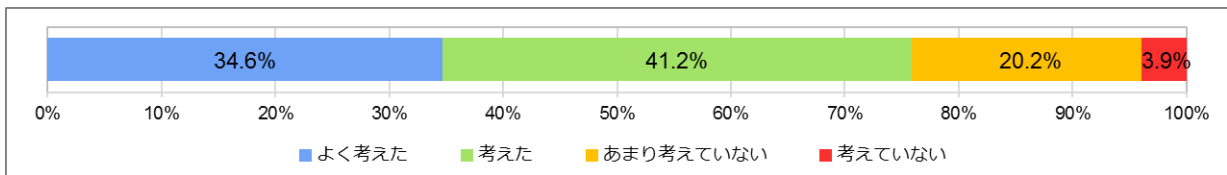
設問 2：学校に行くのが楽しいですか



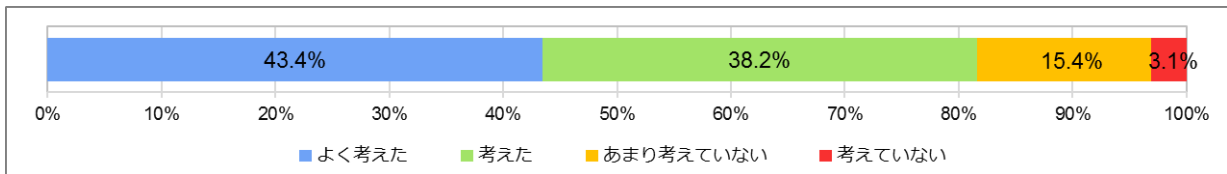
設問 3：自分の体力づくりに取り組んでいますか



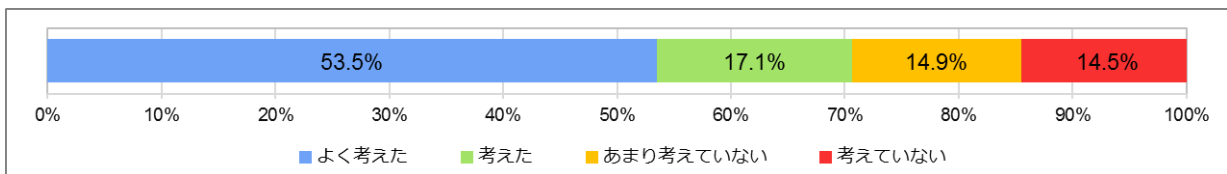
設問 4 : 学校の先生たちに分からないことを聞きやすいですか



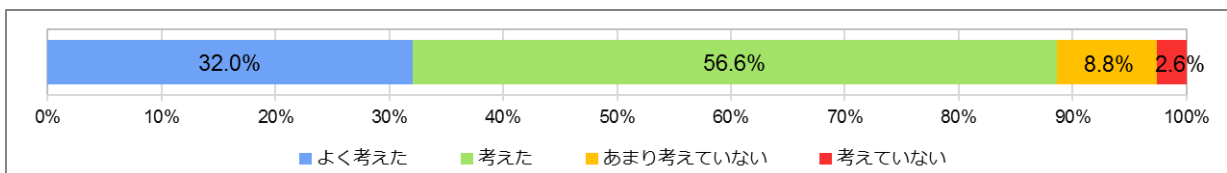
設問 5 : 友達や先生たちに元気よくあいさつをしていますか



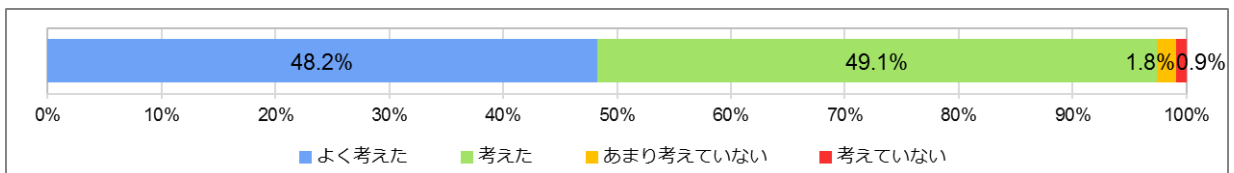
設問 6 : 学校から帰って毎日【学年×10分以上の】学習をしていますか



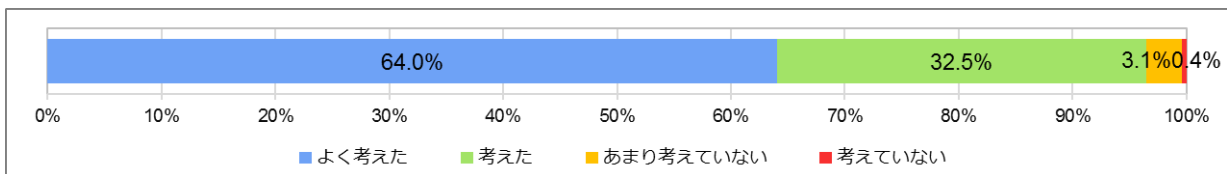
設問 7 : 学校の約束を守っていますか



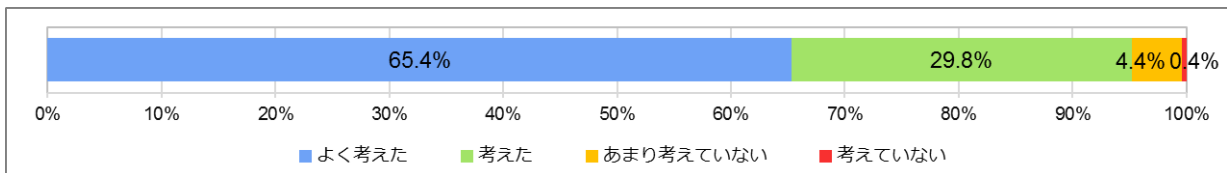
設問 8 : みんなで使うものを大切にしていますか



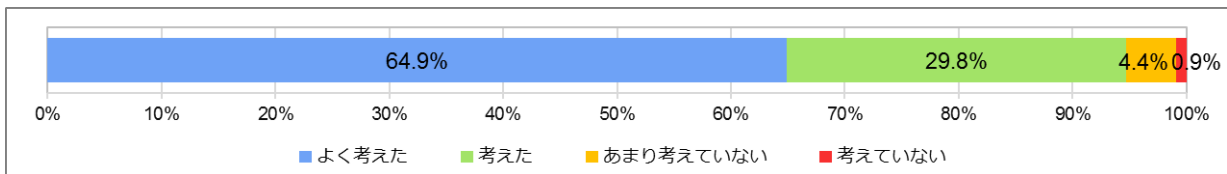
設問 9 : 友達と仲よく生活していますか



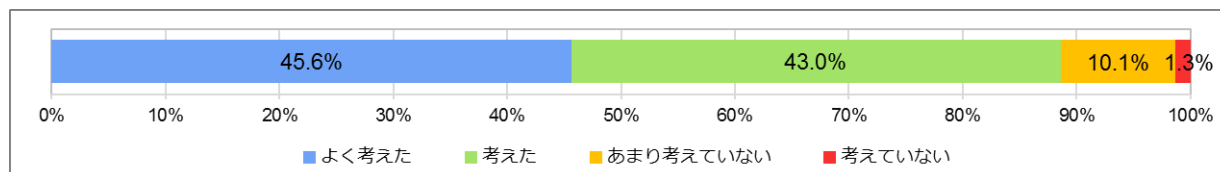
設問 10 : 運動発表会や月一祭、展覧会は、楽しく取り組みましたか



設問 11 : 校外学習で学びを深めることができましたか



設問 1 2 : 給食は自分で決めた量を残さず食べていますか



3 今後の改善方策

- ・学習指導の効果を高めるタブレット端末を含めた I C T 機器の活用を推進し、教師の授業技術との関連を意識していく。活用の場面やタイミング、活用する上での創意工夫が教師の授業技術に大きく関わっていると考えられるため、校内研究や授業実践を行うことで各教科の中に定着させ、児童の論理的に考える力を育成していく。
また、日常的に高頻度で活用できる I C T 環境を整備することで、より授業の質が高まると考えられる。
- ・児童の問題や悩み、トラブルへ対して、実施した児童アンケートを活用し、迅速な対応を図る。年間 3 回、担任による面談を実施し、児童の話をよく聞き、気持ちを受け止め児童の悩みを解決していく。家庭・養護教諭・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・学校サポートチーム等と連携・協力していく。
- ・タブレット端末を活用し、学校評価アンケートの回答を入力していただいたが、紙ベースで行った前年度よりも回収率が低くなってしまった。学年・学級だより等で周知を促したが、実施初年度ということもあり、認識いただけなかった部分もあった。引き続き、評価制度の意義を伝えたり、各担任からの声掛けをしたりすることでアンケートの回収率を更に上げていく。